



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO

(氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO

(氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	217,942	7.9	12,398	31.8	16,088	21.6	10,817	33.2
27年3月期第2四半期	201,974	4.5	9,403	△5.7	13,227	△2.6	8,118	△5.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 6,629百万円 (△24.3%) 27年3月期第2四半期 8,756百万円 (△51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	98.13	97.63
27年3月期第2四半期	73.65	73.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	516,616	374,449	70.8
27年3月期	512,743	369,852	70.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 365,837百万円 27年3月期 361,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00
28年3月期	—	40.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	468,000	8.4	26,000	7.0	31,500	△4.5	25,000	35.1	226.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 浙江日清食品有限公司、除外 1社 (社名)
 (注)詳細は、【添付資料】P. 4(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、【添付資料】P. 4(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	117,463,685 株	27年3月期	117,463,685 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	7,223,201 株	27年3月期	7,231,787 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	110,236,485 株	27年3月期2Q	110,226,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想などの将来予測情報に関する説明)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、雇用・所得環境の改善傾向を背景に、個人消費は底堅い動きを見せており、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、中国をはじめとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国景気が下押しされるリスクがある等、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

「食の安全・安心」については、経営の最重要課題と位置づけており、製品や原材料の安全性については徹底的なチェックを行い、更なる品質管理体制の強化に取り組んでおります。

また、成長性の高い新興国を中心にグローバル戦略を推進するとともに、グループとしてシナジー効果の最大化を目指し、さまざまな経営環境にも即応できる強固な企業基盤の構築に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比7.9%増の2,179億42百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比31.8%増の123億98百万円、経常利益は前年同期比21.6%増の160億88百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比33.2%増の108億17百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年同期比	
	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	金額	%
売上高	201,974	217,942	+15,968	+7.9
営業利益	9,403	12,398	+2,994	+31.8
経常利益	13,227	16,088	+2,860	+21.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	8,118	10,817	+2,699	+33.2

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

① 日清食品

日清食品(株)の販売状況は、特にカップめん類が大きく売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、「具材充実!!」をコンセプトに4月にリニューアルした「カップヌードル」群や、新たに発売したしっかり食べ応えはあるのに低カロリーな「カップヌードルライトプラス」の売上が好調であったことに加え、発売2年目となった「カップヌードル トムヤムクンヌードル」も売上増に貢献しました。袋めん類では、ごまラー油に炒りごまを加えリニューアルしたロングセラー商品「出前一丁」が売上を伸ばしました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比5.3%増の1,016億43百万円となり、セグメント利益は、前年同期比16.8%増の103億12百万円となりました。

② 明星食品

明星食品(株)の販売状況は、袋めん類では、「明星チャルメラ」シリーズが堅調に売上を伸ばしました。カップめん類では、平成27年2月に発売20周年を迎えた「明星一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズの売上が引き続き好調に推移しました。利益につきましては、売上の増加や原価率の改善、工場新設による生産効率の向上などで前年同期を上回りました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比10.2%増の200億10百万円となり、セグメント利益は、前年同期比158.2%増の11億58百万円となりました。

③ 低温事業

日清食品チルド類の販売状況は、夏の定番商品である冷し中華群の好調に加え、主力ブランドの「行列のできる店のラーメン」を中心としたラーメン群、ぜいたくな液体ソースで食べごたえ抜群の「太麺焼そば」も売上が順調に伸び、全体で前年同期比売上増となりました。

日清食品冷凍類の販売状況は、具付きラーメン類、焼そば類、具付きパスタ類を中心に売上が伸びました。具付きラーメン類では、「辣椒担々麺」をはじめとする「冷凍 日清具多」シリーズや「冷凍 日清 汁なし担々麺 大盛り」が好調で、焼そば類では、「冷凍 日清中華 上海焼そば」の売上が順調に推移しました。また、「冷凍 日清もちっと生パスタ」群をはじめとする具付きパスタ類が売上が伸び、前年同期比売上増となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比7.2%増の300億30百万円となり、セグメント利益は、前年同期比1,497.7%増の4億3百万円となりました。

④ 米州地域

米州地域は、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指しております。米国では、市場のニーズに合った商品の投入と既存ブランドの売上と利益の確保に取り組んでおります。メキシコでは、前期において税制改正（IEPS）による小売価格上昇等の影響で販売数量が落ち込みましたが、今期は回復し売上が前年同期を上回りました。セグメント全体では円安の影響もあったことから増収となり、利益については一般経費が増加した影響などにより減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は前年同期比11.7%増の180億75百万円、セグメント利益は前年同期比22.3%減の2億18百万円となりました。

⑤ 中国地域

中国地域は、中国大陸市場での販売エリア拡大（華北・東北・西南地区）と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。新しく導入した「合味道BIG」の販売も順調に推移しており、売上は為替の影響もあったことから前年同期を上回りました。利益については、当連結会計年度より決算期変更を行い、比較となる前第2四半期と対象期間が異なりますが、為替の影響もあったことから前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比15.7%増の205億4百万円となり、セグメント利益は、前年同期比13.7%増の18億56百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比8.9%増の276億78百万円となり、セグメント損益は、前年同期比3億31百万円減少の2億55百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ38億72百万円増加し、5,166億16百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次の通りであります。

資産の増加につきましては、主に有形固定資産が82億96百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7億24百万円減少し、1,421億66百万円となりました。これは主に短期借入金が8億11百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ45億96百万円増加し、3,744億49百万円となりました。これは主に利益剰余金が81億17百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.6%から70.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に発表いたしました通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成27年11月12日）に発表いたしました「平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新規設立をした浙江日清食品有限公司を連結の範囲に含めております。また、日清ユニバーサルロビナは重要性が増したため持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び一部の国内連結子会社において、たな卸資産のうち、原材料及び貯蔵品に係る評価方法は、従来、主として最終仕入原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法に変更いたしました。この変更は、基幹システムの再構築を契機に、より適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

第1四半期連結会計期間の期首に新システムが稼働したことから、過去の連結会計年度に関する在庫受払記録が一部入手不可能であり、総平均法を遡及適用した場合の累積的影響額を算定することは実務上不可能であります。そのため、前連結会計年度の原材料及び貯蔵品の帳簿価額を期首残高として、第1四半期連結会計期間の期首から将来にわたり総平均法を適用しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数持主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社等の事業年度に関する事項の変更)

連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、決算日が12月31日である中国地域セグメントの日清食品有限公司、永南食品有限公司等の連結子会社11社について、連結決算日である3月31日に、仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これらの決算期変更に伴う、平成27年1月1日から平成27年3月31日までの当該連結子会社の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,365	87,625
受取手形及び売掛金	54,491	55,651
有価証券	19,153	18,365
商品及び製品	12,015	12,672
原材料及び貯蔵品	11,053	12,269
その他	10,852	11,679
貸倒引当金	△422	△372
流動資産合計	201,507	197,892
固定資産		
有形固定資産		
土地	51,097	51,180
その他（純額）	96,151	104,365
有形固定資産合計	147,249	155,545
無形固定資産		
のれん	701	480
その他	7,511	7,457
無形固定資産合計	8,212	7,938
投資その他の資産		
投資有価証券	135,441	136,254
退職給付に係る資産	268	268
その他	20,385	18,746
貸倒引当金	△322	△29
投資その他の資産合計	155,773	155,239
固定資産合計	311,236	318,723
資産合計	512,743	516,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,896	46,139
短期借入金	3,870	3,058
未払金	27,085	27,339
未払法人税等	5,163	6,190
その他	22,010	18,445
流動負債合計	103,027	101,174
固定負債		
長期借入金	9,461	12,219
退職給付に係る負債	3,394	2,980
その他	27,008	25,792
固定負債合計	39,863	40,992
負債合計	142,891	142,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,417	48,421
利益剰余金	273,319	281,436
自己株式	△21,684	△21,660
株主資本合計	325,175	333,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,102	33,386
繰延ヘッジ損益	57	2
土地再評価差額金	△5,739	△5,739
為替換算調整勘定	6,016	4,292
退職給付に係る調整累計額	1,169	574
その他の包括利益累計額合計	36,608	32,516
新株予約権	1,518	1,856
非支配株主持分	6,551	6,755
純資産合計	369,852	374,449
負債純資産合計	512,743	516,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	201,974	217,942
売上原価	115,029	121,625
売上総利益	86,945	96,317
販売費及び一般管理費	77,541	83,919
営業利益	9,403	12,398
営業外収益		
受取利息	434	391
受取配当金	998	799
有価証券売却益	—	802
持分法による投資利益	1,321	1,502
為替差益	877	—
その他	411	585
営業外収益合計	4,044	4,080
営業外費用		
支払利息	111	141
為替差損	—	133
租税公課	53	—
その他	55	115
営業外費用合計	220	390
経常利益	13,227	16,088
特別利益		
固定資産売却益	46	33
投資有価証券売却益	745	912
その他	3	—
特別利益合計	795	946
特別損失		
固定資産廃棄損	151	155
減損損失	641	—
貸倒損失	—	508
その他	78	15
特別損失合計	871	679
税金等調整前四半期純利益	13,152	16,354
法人税等	5,004	5,488
四半期純利益	8,148	10,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,118	10,817

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	8,148	10,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,474	△1,786
繰延ヘッジ損益	△0	△55
為替換算調整勘定	△1,537	△1,659
退職給付に係る調整額	△204	△590
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,124	△146
その他の包括利益合計	608	△4,237
四半期包括利益	8,756	6,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,817	6,726
非支配株主に係る四半期包括利益	△60	△97

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	96,517	18,151	28,004	16,176	17,716	176,566	25,407	201,974	—	201,974
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,630	2,268	570	0	61	4,531	9,971	14,502	△14,502	—
計	98,148	20,419	28,574	16,177	17,777	181,097	35,378	216,476	△14,502	201,974
セグメント利益	8,833	448	25	281	1,632	11,221	76	11,297	△1,893	9,403

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,893百万円には、退職給付関係費用358百万円、のれんの償却額△344百万円、セグメント間取引消去等42百万円、グループ関連費用△1,950百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	101,643	20,010	30,030	18,075	20,504	190,264	27,678	217,942	—	217,942
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,505	2,802	655	0	54	5,018	12,595	17,614	△17,614	—
計	103,149	22,812	30,686	18,076	20,558	195,282	40,273	235,556	△17,614	217,942
セグメント利益 又は損失(△)	10,312	1,158	403	218	1,856	13,949	△255	13,694	△1,295	12,398

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,295百万円には、退職給付関係費用934百万円、のれんの償却額△221百万円、セグメント間取引消去等43百万円、グループ関連費用△2,051百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

当社は、平成27年8月27日開催の臨時取締役会において、味の素株式会社とのブラジルにおける合弁会社であるニッシン・アジノモト アリメントスLtda.の普通株式を追加取得し子会社化することを決議しました。また、平成27年10月30日をもってニッシン・アジノモト アリメントスLtda.の普通株式を追加取得し同社は当社の連結子会社となりました。

（1）企業結合の概要

①被取得企業の概要

被取得企業の名称：ニッシン・アジノモト アリメントスLtda.

事業の内容：即席麺の製造及び販売

②企業結合を行った主な理由

南米エリアのブラジルにおいて、事業のさらなる成長を促進し、同国における事業基盤を強化するため。

③企業結合日 平成27年10月30日

④企業結合の法的形式 現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称 ニッシン・アジノモト アリメントスLtda.

⑥取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率：50%

企業結合日に追加取得した議決権比率：50%

取得後の議決権比率：100%

⑦取得企業を決定するに至った根拠 当社子会社が現金を対価として株式を取得したことによります。

（2）被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得原価は、現時点で確定しておりません。

なお、企業結合日に追加取得した株式の対価は、32,500百万円です。

（3）被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

現時点で確定しておりません。

（4）発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点で確定しておりません。

（5）企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点で確定しておりません。